



令和5年							日
月	火	水	木	金	土	日	
2	3	4	5	6 ととけこおはなし会	7 子ども映画会	8 ちよこつとブックトーク	
9	10	11 シネマサロン	12	13	14 まめまめわらべうたの会	15 シネマサロン/ととけこおはなし会 ミニミニ	
16	17	18	19	20	21 ととけこおはなし会 あおぞらととよかん さぎなみ号 巡回	22 ととけこおはなし会 あおぞらととよかん	
29	24 あおぞらととよかん	25	26 館内整理日	27	28 ととけこおはなし会	29	
30	31	11/1	2	3	4	5	

■は休館日です



『しあわせガレット』

中島久枝/角川春樹事務所/Fナカ

派遣契約が終わった日の帰り道、路地奥で見つけたガレットとクレープの店。赤い髪の店主が焼いたこだわりの詰まったガレットに魅了された詩葉は、4日間通いつめ雇ってもらうことに…。疲れた心をおいしく癒す連作短篇集。食欲の秋と読書の秋を同時に味わえます。

『世界の図書館を巡る』

gestalten/マール社/010.2 ケン

現存する世界最古の図書館では貴重な写本のデジタル化が進められ、荘厳な修道院建築の図書館では結婚式が開かれる…。時代とともに進化する世界の図書館を写真で紹介。見た目の美しさだけにとどまらない図書館の魅力伝える。

『浄土思想』

岩田文昭/中央公論新社/188.6 イワ

浄土教の教えの広がり「物語の力」に着目。衆生を救うために阿弥陀仏になった「法蔵説話」、家庭不和を主題とする「王舎城の悲劇」等の經典に描かれた話や、法然、親鸞ら開祖の物語を読み解きながら、その思想の本質に迫る。

『データ分析失敗事例集』

尾花山和哉[編]/共立出版/336.1 オハ

第一線で活躍するデータサイエンティストたちが経験した、データ分析プロジェクトの「失敗」をもとに再構成した25の事例を収録。プロジェクトの失敗の予兆となる致命的な要因を察知し、失敗を回避する方法が分かる。

『くらべてわかるトンボ』

尾園暁/山と溪谷社/486.3 オリ

日本に生息するトンボのうち、本州を中心に分布する121種について、そのトンボが見られる季節や場所などを紹介。似たトンボやオスとメスの違いがよくわかるように、生態写真や部位のアップの写真を掲載する。

『水墨画紙を極める』

伊藤昌/日貿出版社/724.1 イト

現代水墨画家が、自身の制作に使用している画仙紙や和紙36種の特徴と表現効果を公開。水墨画独自のにじみやかすれなど、特徴的な表現に適した紙の選び方・使い方を100の作例で詳細に解説する。

『賢治と「星」を見る』

渡部潤一/NHK出版/910.26 ミヤ

宮沢賢治は当時最新の天文学にどのように触れていたのか。彼の思想は、詩や童話に描かれた天体にどう反映されているのか。天文学者の目を通して賢治作品を読む。NHK『コズミックフロント』ホームページ掲載を加筆し書籍化。

『本棚には裏がある』

酒井順子/毎日新聞出版/019.9 サカ

酒井順子が『週刊文春』に連載した「私の読書日記」10年分のエッセンスが一冊に！仕事、暮らし、家族、女の人生…表があれば、裏もある。本から平成・令和の世相を鋭く読み解く読書エッセイ。

『足利将軍たちの戦国乱世』

山田康弘/中央公論新社/210.4 ヤマ

応仁の乱後、弱体化しつつも100年にわたり権威を保持した足利将軍家。9代義尚から15代義昭までの生涯と事績を丹念にたどり、各地の戦国大名との関係を解明。将軍たちの生き残りをかけた戦いを描く。

『空き家になる前の空き家対策』

氏原岳人/学芸出版社/365.3 ウシ

空き家対策は、空き家になる前に動き出すことが欠かせない。岡山県で先手の空き家対策を続けてきた著者が、住宅所有者の行動変容を促すステップやノウハウを詳説。成功・失敗事例や、全国の先進的取り組みも紹介する。

『藤森照信の現代建築考』

藤森照信/鹿島出版会/523.1 フシ

ヴォーリズ、フランク・ロイド・ライト、村野藤吾、白井晟一…。藤森照信と下村純一が現代建築を行脚。建築家達の作品を通し、日本のモダニズム建築の見どころを説く。東京ガスPR誌『LIVE ENERGY』連載を書籍化。

『活版印刷』

ギャビー・バザン/グラフィック社/749.4 ハサ

ようこそ、フランスの印刷工房へ！古代の複製技術から、グーテンベルクの活版印刷機の誕生、そして活版印刷のしくみまでを、職人がやさしく案内します。活版印刷のことがゼロからわかる入門ブック。

『百年の子』

古内一絵/小学館/Fフル

明日花(28歳)は、自社が出版する学年誌の歴史を調べるうちに、今は認知症の祖母が、戦中、学年誌の編集に関わっていたことを知る。戦中～令和の出版界を舞台に、子ども、女性、母親が人生を掴み取る姿を描く大河小説。

『本のある空間採集』

政木哲也/学芸出版社/024.1 マサ

世界地図を体現したギャラリー型書架、一箱本棚でつくる商店街の図書館…。全国の個人書店・私設図書館・ブックカフェなど、様々な「本のある空間」を訪ねて実測。斜め上から見下ろすアイソメ図とともに紹介する。

『関東大震災と流言』

水島爾保布/岩波書店/210.6 ミス

百年前、東京の下町で何が起きたのか。迫る猛火、飛び交うデマ、そして暴力。関東大震災の諸相をニヒリズムの目で観察、記録しながらも検閲によって葬られた、水島爾保布「愚漫大人見聞録」を全文収録し、注と解説を加える。

『ジェンダー格差』

牧野百恵/中央公論新社/367.1 マキ

ジェンダーとは、歴史・文化・社会的に形成される男女の差異のこと。実証経済学の成果から就業、教育、歴史、結婚、出産など様々な事柄を取り上げ、格差による影響や解消後の可能性について、国際的視点から描く。

『発酵食品と戦争』

小泉武夫/文藝春秋/588.5 コイ

「発酵」と「戦争」は関わりが無いように思えるが、太平洋戦争末期からの食糧欠乏期、国民全体が発酵食品に救われた。食糧のみならず爆薬・燃料・薬品をもつくる「発酵」の驚異のパワーを、古今東西の豊富な事例で紹介する。

『これで死ぬ』

羽根田治/山と溪谷社/786 ハネ

助けようとして死ぬ。ダニに噛まれて死ぬ。ころんで死ぬ…。まさか、こんなことで死ぬなんて！53のアウトドアでの死の事例を紹介。死なないための安全知識も解説する。

『幻燈おんな草紙』

森真沙子/二見書房/Fモリ

「兄の幸太郎は生きています」と篠屋の主・富五郎は突然、綾に告げる。住み込み女中となつて働きながら兄を探していた綾は、微かな手掛かりを頼りに兄の痕跡を追いかける。「天璋院様お成り」ほか全4話を収録。

『スーフイズムとは何か』

山本直輝/集英社/167.8 ヤマ

“イスラームを味わうこと”を究極目的とするスーフイズムは、「イスラーム神秘主義」とも訳される。思想、修行法から、食、武術、音楽をも射程におさめ、よく生きるための「実践の道」としてのスーフイズムを解説する。

『何が投票率を高めるのか』

松林哲也/有斐閣/314.8 マツ

選挙は日本で頻繁に実施されているが、投票率は低調である。期日前投票期間や投票所の数、選挙啓発活動や議員定数の不均衡などの投票環境条件に注目し、それらがどのように投票率に影響を与えているのかを実証的に論じる。

『宝石図鑑』

KARATZ/日本文芸社/459.7 カラ

世界各地に存在する宝石を美しい写真とともに解説する宝石図鑑。ダイヤモンド、エメラルドなど4大宝石を詳解するほか、宝石を色別にまとめ、宝石ごとにその特徴を表すデータを掲載する。

『ちいさな季節の編みかざり』

松本かおる/日本ヴォーグ社/594.3 マツ

『毛糸だま』掲載の、松本かおるのかぎ針編みかざり作品をまとめたリクエスト集。お雛さま、七夕飾り、ジャック・オー・ランタン、門松など、季節のイベントをテーマにした編みかざりの編み方を紹介する。

『ことば、身体、学び』

為末大/扶桑社/804 タマ

ことばが世界をつくるのか。世界がことばをつくるのか。元トップアスリート・為末大が「ことばと身体」についての体験や考察を述べ、そこから発生した問いを、言語心理学者・今井むつみとともに解いていく。

『信長の遺書』

山本音也/小学館/Fヤマ

イタリアのある家の蔵から古い紙束が…。それは信長の近習の書記によって密かに編まれた「信長公記」の完本正篇だった。天下を統べるはずだった男の果てなき好奇の思いを極大なスケールで描く、斬新吃驚の歴史長編。

